

生まれ変わる 円山動物園



昭和26年に開園した円山動物園。かつて、年間100万人を超えていた入園者は、平成17年には49万人に半減。昭和40年代に建設された施設が多く、老朽化も進んでいました。

そのため、施設の改修や利用者の増加策など、今後10年の取り組みを盛り込んだ基本計画を、このたび策定しました。生息地ごとに「北海道・北方圏」「アジア」「アフリカ」の3つのゾーンに分け、自然に近い状態で動物を見ることができる新施設を作ったり、新たなイベントなどを始めたりするなど、開園60周年を迎える平成23年度には、年間100万人の来園者を目指します。

詳細 円山動物園 ☎621-1426



新施設が続々とオープン!

施設の床をコンクリートから土と草木にして、より自然な環境に近づけることで、生き生きと過ごす動物の姿を見ることができます。

アフリカ館

24年以降公開予定

ライオンやキリンなど7種の動物を一挙に展示。シマウマやダチョウなどは同じスペースで展示し、野生本来の姿を再現します。

アジア館

24年以降公開予定

アムールトラやユキヒョウなど、アジアの動物を展示。いろいろな角度から、より間近に動物たちを観察できます。

ほかに
施設が
できます

野生復帰ゾーン (21年公開予定)

縦40m×横17m×高さ12mの囲いの中でオオワシやシマフクロウの飛行訓練を行い、野性への復帰を図ります。

エゾヒグマ館 (22年公開予定)

ヒグマがササやぶをかき分けて餌を探し出す様子などを観察できます。

新爬虫類館 (23年公開予定)

光の当て方を工夫し、爬虫類が持つ本来の美しい色や形を見ることができます。

「繁殖」と「癒やし」に重点

動物にも人にも優しい動物園を目指します。

1 希少動物の繁殖

ホッキョクグマやオランウータンなど、絶滅の恐れがある動物の繁殖に力を入れます。

ホッキョクグマ

平成12年以降、国内で唯一繁殖に成功。2頭の子が生まれ、ほかの動物園へ巣立ちました



2 癒やしの空間



先行
実施

レストランやコンビニエンスストア、休憩スペースを設け、子供だけではなく、大人もくつろげる空間を目指します。

←7月にオープンしたカフェ

道産食材を使ったカレーやパスタなど21品を販売。長さ30センチの「円山あげぱん」が人気です

先行
実施

子育てサロンを毎月開催

絵本の読み聞かせなどで子供を遊ばせている間に、お母さんは、マッサージなど月替わりのメニューを、ゆったりと楽しめます。

日時 来年3月26日までの第4木曜午前10時～午後3時

場所 エゾシカ・オオカミ舎 費用 入園料600円。有料メニューあり

詳細 保育・子育て支援課 ☎211-2988

円山動物園へ行こう!

開園時間 午前9時～午後4時

入園料 600円、中学生以下無料

所在地 中央区宮ヶ丘3